

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座・助教
氏名 Name	仲尾周一郎
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	アラビア語諸変種の音韻論・言語類型論・社会言語学的研究
<p>本年度は北東アフリカで話されるアラビア語の社会言語学的動態（口頭発表 ①・④）・音韻論的特徴（論文①・口頭発表②）に関する研究、標準アラビア語に関する教育音韻論的研究（研究ノート①）、複数のアラビア語変種における動詞連続構文の現れに関する類型論的特徴（口頭発表③）に関する研究を行った。本年度には、エチオピアにて1度のフィールドワーク（2019年3月9日―19日）を遂行しつつある。</p> <p>これらに加え、博士論文“A Grammar of Juba Arabic”（京都大学）の一部修正や英文校閲を行った。現状では未だ問題点が散見されるため、引き続き最終的な出版に向けた研究を行っていく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究ノート①「アラビア語教育における「音韻規則」の扱いについて」『外国語教育のフロンティア』2巻. (査読あり、近刊) ● 書評① “Book review: <i>Ārabi Jūba: Un pidgin-créole du Soudan du Sud</i>. Stefano Manfredi. Paris: Peeters. 2017. Pp. x+227. Paperback €28.00.” <i>Journal of Pidgin and Creole Languages</i>. (招待・査読あり、近刊) ● 書評② “Book review: Muḥammad Al-Šarqāwī. 2017. <i>Al-‘Arabiyya fī Šarq Ifrīqiyyā: Muqaddima fī al-tahjīn al-luḡawī</i>” 『アラブ・イスラム研究』17巻 (投稿済み) ● 口頭発表①「北東アフリカにおけるアラビア語の動態：コンヴィヴィアル・マルチリンガリズム」, 「アフリカ潜在力」と現代世界の困難の克服 人類の未来を展望する総合的地域研究, 第9回全体会議, 京都大学, 2018年6月16日. ● 口頭発表②「ベニシャングル・アラビア語における放出音：アラビア祖語への示唆」平成30年度第一回エチオピア諸語研究会, 大阪大学, 2018年11月10日. ● 口頭発表③「アラビア語諸変種と動詞連続」フィールド言語学ワークショップ: 第14回文法研究ワークショップ「動詞連続の諸問題」, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 2019年1月12日. ● 口頭発表④ “African plurilingual tradition and conviviality: Lessons from Non-Arab Arabic-speaking communities in Eastern Africa” International symposium on African potentials and the future of humanity, Kyoto University, 27 January 2019. 	